
SSB/SCB T-1 ハードウェア セットアップガイド

Rev. 1.1

2017.03.29

目次

1	ハードウェア仕様	1
1.1	ハードウェア仕様	1
1.2	付属品	1
2	外観	1
2.1	前面	1
3	IPMI インターフェースの設定手順	2
3.1	BIOS セットアップ画面を表示する	2
3.2	IPMI の設定を行う	3
3.3	ネットワークの設定	4
3.4	設定情報の保存	4
4	ラックへの装着作業前の事前注意事項	5
4.1	ラック作業前の注意事項	5
4.2	一般的なサーバに関する取扱注意事項	5
4.3	ラックへの装着手順	5
4.3.1	基本的なラックへの装着手順	5
4.3.2	ラックマウントキットを使ったラックへの装着手順	6
4.3.3	シャーシレール(内側レール)の取り付け	6
4.3.4	ラックレール(外側レール)のラックへの取り付け	7
4.3.5	サーバをラックに取り付け	7
4.3.6	Telco(Two Post)ラックに取り付け	8
5	ブートデバイスの変更手順	10
5.1	BIOS セットアップ画面を表示する	10
5.2	BOOT デバイスを変更する	11
5.3	変更した設定の保存	11

1 ハードウェア仕様

1.1 ハードウェア仕様

BalaBit 社 T-1 は、下記のハードウェアで構成されています。

高さ	1U
外形寸法	424 x 43 x 356 mm (突起物含まず)
HDD	SATA 1 TB x2 (ソフトウェア RAID)
電源	アイドル時:50W、負荷時:242W AC 100-240v、50-60Hz、4-2Amp
Ethernet ポート	Ethernet ポート x5 (IPMI を含む)
USB ポート	(背面) x2
ディスプレイコネクタ	VGA ポート
キーボードコネクタ	PS/2 キーボードコネクタ
マウスコネクタ	PS/2 マウスコネクタ

表1-1 T-1 ハードウェア仕様

1.2 付属品

電源ケーブル 1本

2 外観

2.1 前面



図2-1 前面パネル

- ① 電源スイッチ
- ② リセットスイッチ
- ③ 状態表示 LED (左より)



オーバーヒート/ファン故障:

点滅時は、ファンの故障を示しています。常時点灯の場合は、オーバーヒートを示します。上部カバーを取り外したまま、使用しないでください。オーバーヒートの原因となります。



NIC: ネットワークにアクセスしている時に点滅します。



HDD: ハードディスク等記憶装置にアクセスしている時に点滅します。



電源: 電源装置から電力が出力されていることを示します。

使用中は点灯しています。

2-2. 背面

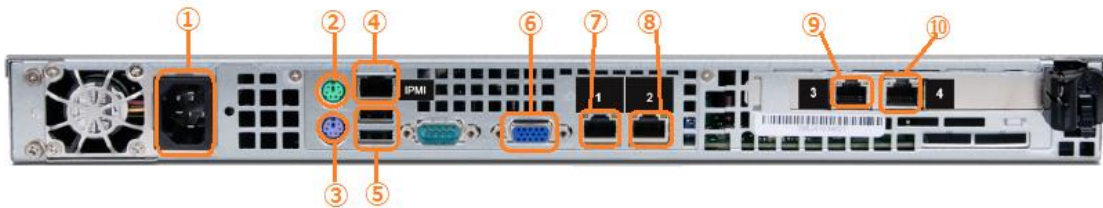


図2-2 背面

- | | |
|-----------------------------------|--------------------|
| ① 電源コネクタ | ⑥ VGA ディスプレイコネクタ |
| ② PS/2 マウスコネクタ | ⑦ LAN Port1 (Ext) |
| ③ PS/2 キーボードコネクタ | ⑧ LAN Port2 (MGMT) |
| ④ IPMI インターフェース
(Ethernet ポート) | ⑨ LAN Port3 (INT) |
| ⑤ USB コネクタ x 2 | ⑩ LAN Port4 (HA) |

3 IPMI インターフェースの設定手順

IPMI インターフェースを使用すると、リモートよりシステムの状態を確認したり、仮想 CD-ROM にアクセスできたりします。ここでは、IPMI インターフェースの設定手順を説明します。

3.1 BIOS セットアップ画面を表示する

BIOS ロゴが表示されている画面で、DEL キーを押します。

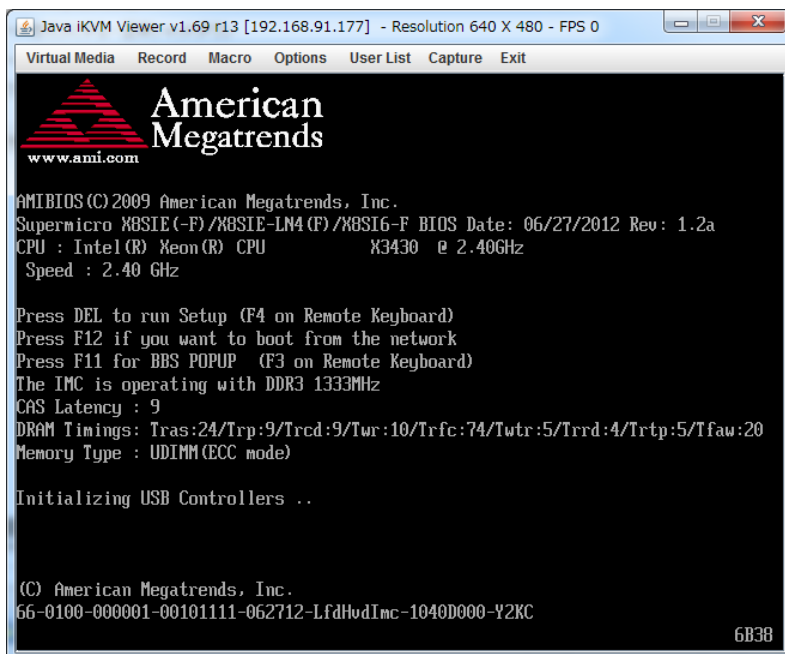


図3-1 BIOS ロゴ画面

しばらくすると、BIOS 設定変更画面が表示されます。

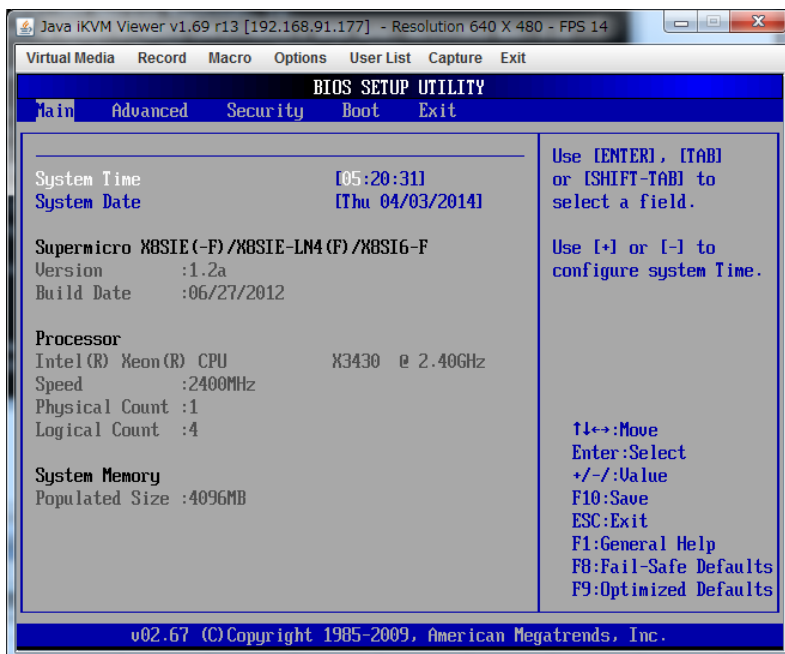


図3-2 BIOS 設定変更画面

3.2 IPMI の設定を行う

上部メニューより、Advanced を選択し、さらに IPMI Configuration をクリックします。

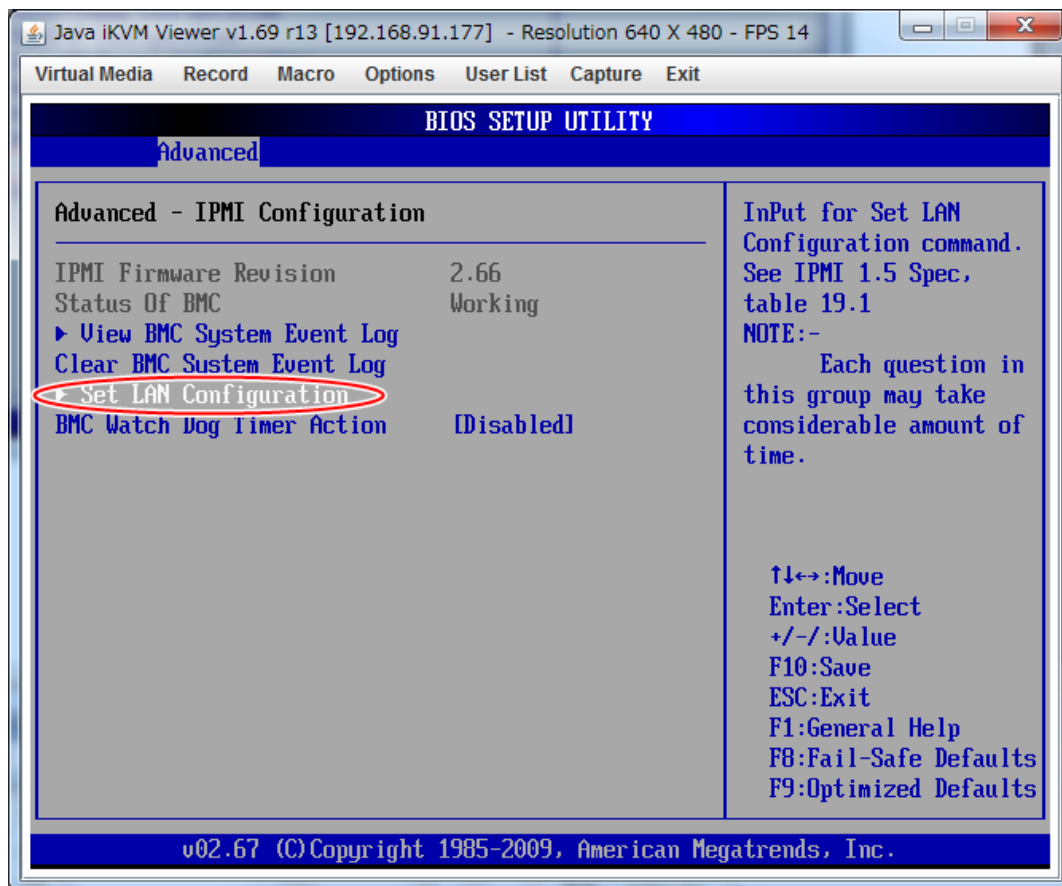


図3-3 IPMI 設定画面

3.3 ネットワークの設定

Set LAN Configuration を選択し、IPMI の Network Interface の設定を行います。IPMI インターフェースの IP アドレスとデフォルトゲートウェイの値を入れます。

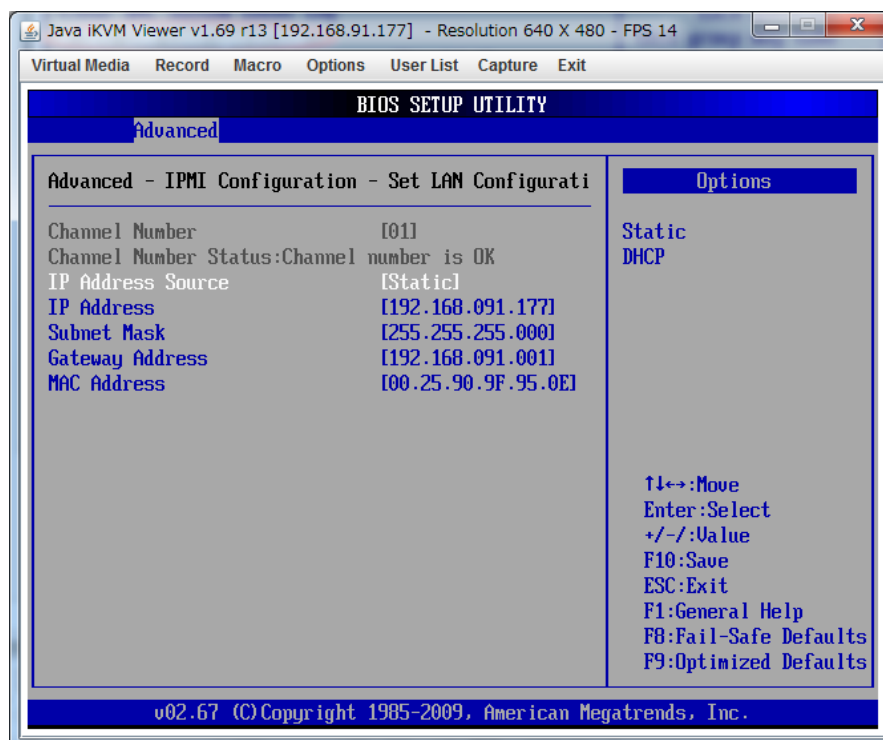


図3-4 IPMI のネットワークアドレス設定画面

3.4 設定情報の保存

F10 を押して設定を保存します。

4 ラックへの装着作業前の事前注意事項

4.1 ラック作業前の注意事項

- ラックの下面にあるレベルジャッキにより、ラックを確実に固定する
- 単体ラックの場合、動揺制止装置を装着する
- 複数のラックが導入されている場合は、ラック同士を結合する
- ラックから製品を引き出す場合には、ラックが安定状態であることを確認する
- ラックより製品を引き出す際には、同時に複数の製品を引き出さない

4.2 一般的なサーバに関する取扱注意事項

- 事前に、装置に関する電気と安全に関する注意事項を確認する
- ラックにレールを装着する前に、各製品の設置位置を決める
- 重たい製品は下方に設置する。また、下から設置するようにする
- サーバを、電源を原因とする障害から保護するために UPS の使用を検討する
- hot plug 関連の装置を外す際には、熱くないことを確認してから作業をする
- 冷却のため、ラックのドアやサーバのカバー等は閉めておく

4.3 ラックへの装着手順

4.3.1 基本的なラックへの装着手順

BalaBit T1には、2 つのマウンティング ブラケットが前面の両側に付いています。サーバをラックに装着するには、これらのブラケットを直接ラックのフロントにネジ止めします。各ブラケットを 2 つのネジで止めます。

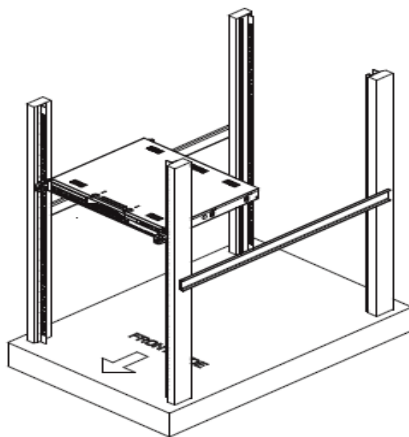


図4-1サーバをラックに取り付け(基本的な装着方法)

4.3.2 ラックマウントキットを使ったラックへの装着手順

これ以降は、オプションのラックマウントキットを使用した場合の装着手順です。

ラックマウントキットは 2 つのセクションから成っています: シャーシに固定する内側レール(A)とラックに固定する外側レール(B)です。(図 4-2 を参照してください)。

これは、ユニットをラックに装着するためのガイドラインです。ご利用のラックに付属の説明書も参照してください。ラックには種類があるので装着手順は少し違いもあります。

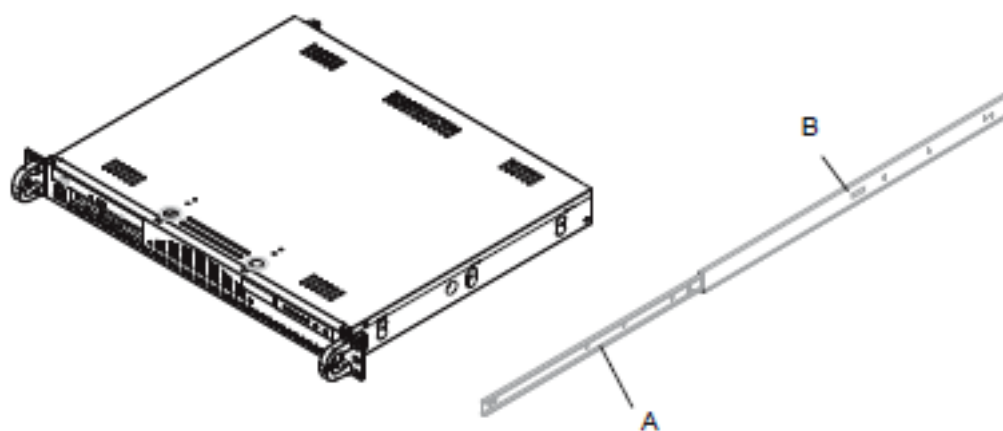


図4-2 ラックレールの構成

警告！ 安定性に注意。ラックにスタビライザーを付けてください。または、サーバをラックに装着する前にラックをフロアにボルトで止めてください。ラックが安定しないと転倒する可能性があります。

4.3.3 シャーシレール(内側レール)の取り付け

まず、シャーシレールを2つに分解します: 内側レールをロックされた位置から外すため、内側レールのロックタブを押し込み、レールを引き抜いてください。両側のレールとも分解してください。

シャーシの脇に沿ってシャーシレールを3つのネジ穴が見えるように付けます。シャーシレールには左右があるので注意してください。シャーシにネジで固定してください。(図4-3を参照してください) これをシャーシの反対側でも実施してください。Telcoラックの場合はレールブラケットを付けてください。

ロックングタブ: 両側のシャーシレールにはロックングタブがあり、2つの機能があります。最初はサーバをラックに完全に押し込んだ時にロックします。2番目は、サーバをラックから完全に引き出した時にロックし、ラックから外れないように予防します。

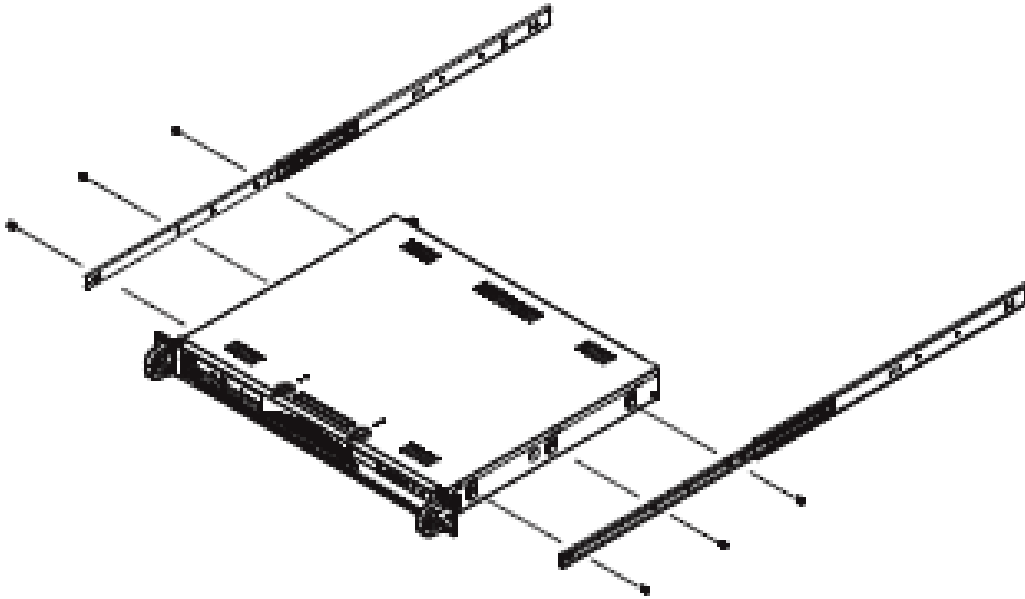


図4-3 シャーシレールの取り付け

4.3.4 ラックレール(外側レール)のラックへの取り付け

サーバをラックのどこの場所に装着するか決めます。ラックレールをスライド面が内側に向くようにラックに装着します。ラックレールはブラケットを使ってラックにネジで固定します。反対側も装着し、両側が同じ高さになるようにしてください。

警告！ フロントのハンドルでサーバを持ち上げないようにしてください。

4.3.5 サーバをラックに取り付け

レールがシャーシとラックの両方に付いている筈です。次のステップはサーバをラックに取り付けることです。シャーシレールの後方がラックレールの前方と平行になるようにしてください。シャーシレールをラックレール内に滑り込ませ、両側の押す力を同じになるようにしてください。挿入の際にロックタブを押す必要があるかもしれません。図4-4を参照してください。

サーバがラックに完全に押し込まれるとロッキングタブのクリック音が聞こえるはずです。

警告！ ラックに取り付ける時に怪我を予防するため、システムが安定になっていることを確実にするように特別に注意を払ってください。安全にするため次のガイドラインを守ってください。

- ◆ このサーバがラックに1つの場合、ラックの最下に取り付けてください。
- ◆ ラックが部分的に埋められている場合、下の方から取り付けてください。
- ◆ ラックにスタビライザーが付いている場合、サーバを取り付ける前にスタビライザーを先に取り付けてください。

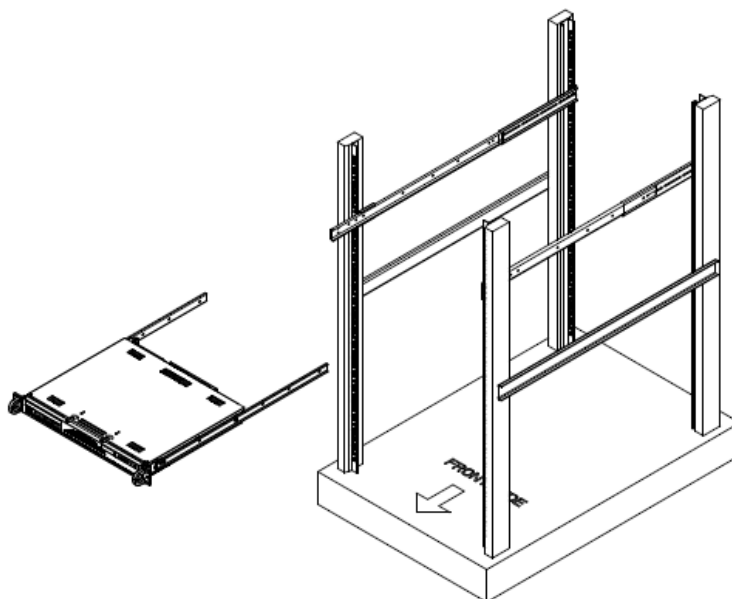


図4-4 サーバをラックに取り付け(ラックマウントキットを使った装着方法)

4.3.6 Telco(Two Post)ラックに取り付け

サーバをTelcoタイプのラックに取り付けるため、シャーシの両側にそれぞれ2つのL型のブラケットを使用します(合計4つ)。まず、サーバがラックの前面からどのくらい出すか決定します。2つのフロントのブラケットをシャーシのそれぞれの側に付け、2つリアのブラケットをラックの幅を十分に賅えるスペースを確保して取り付けます。シャーシをラックに滑り込ませブラケットをラックに固定します。図4-6を参照してください。

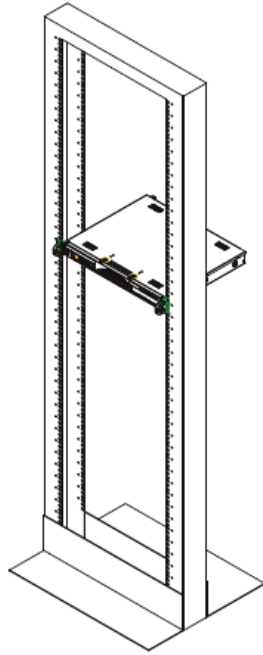


図4-5 Telcoラックへのサーバの取付け(基本的な装着方法)

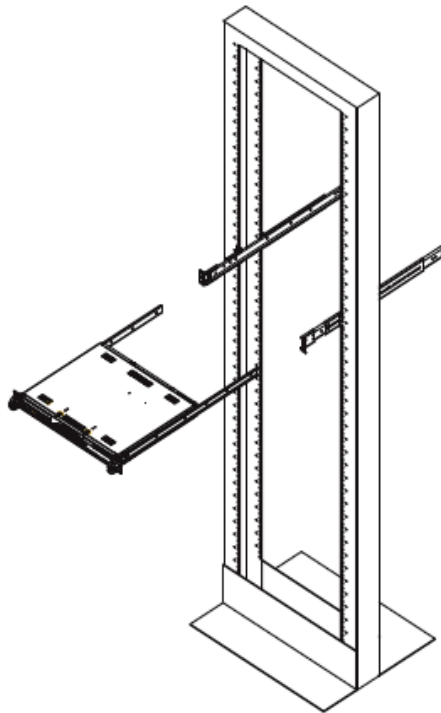


図4-6 Telcoラックへのサーバの取付け(ラックマウントキットと使用したな装着方法)

5 ブートデバイスの変更手順

仮想 CD-ROM よりブートする場合、SSB のブートデバイスの順序を変更する必要があります。ここでは、SSB のブートデバイスを仮想 CD-ROM に設定する手順を紹介します。

5.1 BIOS セットアップ画面を表示する

1. BIOS ログが表示されている画面で、**DEL** キーを押します。

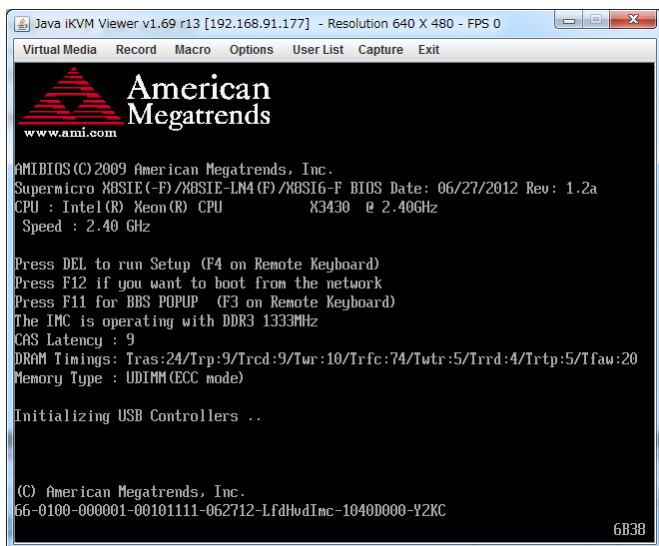
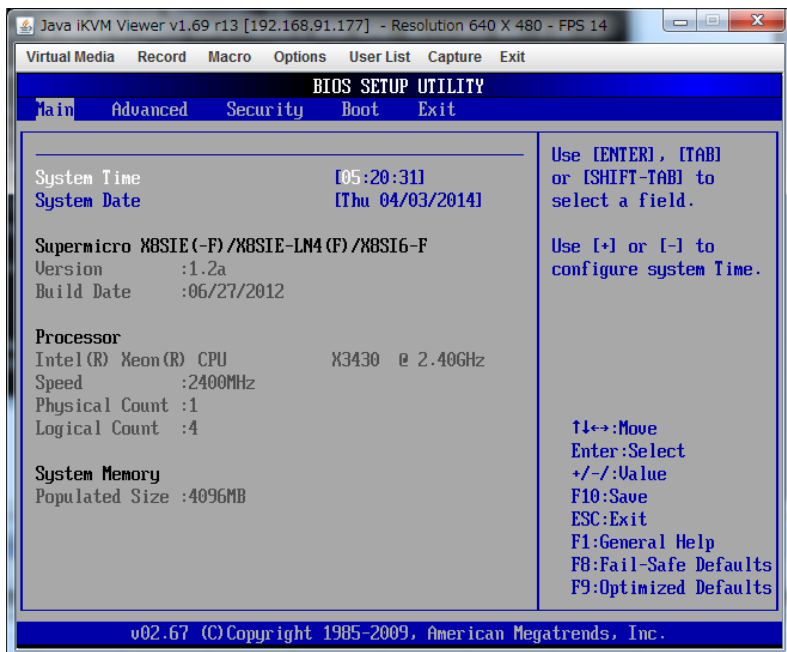


図5-1 BIOS ログ画面

しばらくすると BIOS 設定変更画面が表示されます。



5.2 BOOT デバイスを変更する

上部メニューの **BOOT** を選択し、**Boot Device Priority** を選び Enter を押します。

1. 1ST Boot Device に **IPMI Virtual CD-ROM** を選択します。
2. 2ND Boot Device に内蔵 HDD を選択します。



図5-3 BOOT デバイス設定画面

5.3 変更した設定の保存

1. **F10** を押して変更した設定を保存します。

日本語マニュアル発行日 2017年3月29日
本マニュアル参照元は『SuperServer 50161-MR USER'S MANUAL 1.0b』です
ジュピターテクノロジー株式会社